

中学校 技術・家庭科(家庭分野)	「お金」との上手な付き合い方 ～商品の選択と消費者被害の対応～ (2025. 9)
-----------------------------	---

1. 本時の位置付け

本時は、中学校学習指導要領(平成29年告示)及び同解説【技術・家庭編】に記載されている以下の内容の一部と関連します。

展開①	【使う】 家計管理と決済 【備える】 保険の仕組み	技術・家庭科【家庭分野】 C(1)ア (イ) 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。 <解説> ・物資・サービスの選択・購入に必要な情報の収集・整理を適切に行うことが、消費者被害を未然に防いだり、購入後の満足感を高めたりすることにも気付くようにする。 (ア) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。 <解説> ・自分や家族が毎日生活するために消費している物資・サービスを具体的に挙げ、それらの必要性を考えて分類し、限られた収入をどのように使うのかをグループで話し合い、調整する活動などが考えられる。
展開②	【注意】 金融トラブル	技術・家庭科【家庭分野】 C(1)ア (イ) 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。 <解説> ・インターネットの普及やキャッシュレス化の進行により、目に見えないところで複雑な問題に巻き込まれやすくなることや、被害が拡大しやすいこと、被害者の低年齢化により、中学生も被害者になりやすいことに触れるようにする。 C(1)イ 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。 C(2)イ 身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類1 家計管理」、「分類2 生活設計」、「分類3 金融取引の基本としての素質」の学習を含んでいます。

2. 本時の目標

- ・ 商品の選択に必要な情報を適切に収集・整理する重要性を理解する。
- ・ 消費者被害の原因と対応方法を理解する。
- ・ 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫する。

3. 評価のポイント

- ・ 商品の選択に必要な情報を適切に収集・整理する重要性を理解している。
- ・ 消費者被害の原因と対応方法を理解している。
- ・ 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫している。

4. 本時の流れ ※「学習活動」及び「指導上の留意点」の#は、標準講義資料のスライド番号を示している。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
導入 15分	授業の見通し 【使う】 家計管理と決済	(問)お小遣い 1,000 円を持って買い物に出かけました。あなたなら何を買うか、またその理由を考えましょう。(＃14) ○何をどのような理由で買うかについて交流する。 ワークシート1に記入する。 ●商品を選択するときには、その目的を明確にして、目的にあう価格、品質、機能、安全性、アフターサービス等の視点から情報を集め、総合的に判断することが計画的な金銭管理のために必要であることを説明する。(＃15)	・＃14を提示し、「買わない」という選択肢もあり得ること、商品を選んだ理由、買わない理由を明確にすることを伝える。 ・どの商品を選ぶかは、「価値観」によって異なるため、選んだ商品によって自分はどのような生活をしたいのかを明確にすることが重要であることを理解できるようにする。 ・＃15を提示し、購入する商品によって、自分が思い描く生活ができるかという判断をすることが重要になることを理解できるようにする。
展開① 10分	【備える】 保険の仕組み	●商品によって、生活を豊かにできそうですが、生活にはトラブルもつきものですね。そのトラブルにはどのように向き合えばよいでしょうか。考えてみましょう。 保険とはどのようなものだろうか？(＃39～45) ●「保険とは何か知っていますか。」と発問し、保険の意義と仕組みを説明する。(＃44) (問)この中で、実際にある保険はどれでしょう。あると思う保険の番号で挙手しましょう。(＃40) ○選択肢ごとに挙手で応える。 (問)この他に、生活の中のリスクを考え、あるといいなと思う保険を考えてみましょう。(＃41～43) ○生活の中のリスクを考えて、発表する。 ワークシート2.(1)に記入する。 (問)様々な保険がありそうですね。保険を選ぶときに大切にすべきことは何だと思えますか。 ○保険を選ぶときに大切にすべきことを考え、発表する。	・商品によって、生活を豊かにできる一方で、生活の中にはリスクがあることを示唆する。 ・生徒が「保険を知っているようであれば、知っていることを発表させるなどの工夫をする」とよい。 ・＃44で、そのリスクに備える仕組みが世の中にあることを理解できるようにする。 ・「①はあると思う人②は？」と順番に聞き、全員が意思表示できるようにする。 ・＃41で答え合わせをする。 ・生徒に様々な意見を出させた後に、＃42、43を説明する。 ・自転車保険については、中学生も自転車事故の加害者になり得ることを十分理解させたい。 ・自分自身の生活を見つめ直し、情報を集めて、本当に必要かどうかを判断することが重要であることを理解できるようにする。
展開② 20分	【注意】 金融トラブル	●「商品は、自分の目的に合ったものを適切に判断すると、生活を豊かにしてくれます。でも、購入した商品が原因でトラブルになることがあります。どのような事例があるか見てみましょう。」 消費者トラブルとは何だろうか？(＃58～67) ●消費者トラブルの事例を説明する。 ・オンラインゲーム課金 (＃58、59) ・後払いサービス (＃60、61) ・「絶対儲かる」詐欺 (＃62、63、64)	・商品を購入することで、トラブルに巻き込まれることがあることを示唆する。 ・＃58、60、62、63の事例について、概要を説明する。 ・＃65、66、67の概要を説明してもよい。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
		(問)これらの事例では、なぜトラブルになるのか、どのように回避したらよいかを考えてみましょう。 ○トラブルになる原因と回避方法をグループごとに考え交流する。ワークシート2.(2)に記入する。 (#68、69) ●消費者トラブルの背景には、販売者よりも消費者に与えられる情報量が少ないこと、消費者の判断不足が影響していることを説明する。	・グループごとに1事例ずつトラブルになった理由と解決策を考えるように指示する。 ・グループごとの発表をもとに、トラブルに合わないためには、周囲の信頼できる人への相談、与えられた情報を疑うこと、自分で調べることなどの行動を起こす必要があることを確認する。
まとめ 5分	学習の振り返り	●授業のまとめを記入するよう指示する。 ○ワークシートに「今日の授業で分かったこと、実践したいこと」を記述する。	・学習した内容で、大切だと思うキーワードを使ってまとめを書くといよことを伝える。

5. ワークシートの解答・解答例

ワークシート

「お金」との上手な付き合い方 ～商品の選択と消費者被害の対応～

年 組 番	名前
-------	----

1. お小遣い1,000円をもって買い物にきました。
どの商品を買いますか。○で囲みましょう。また、その理由は何ですか。


¥200


¥100


¥200


¥200


¥100


¥300


¥400


¥1000


¥3000


¥5000

【理由】

(省略)

2. 「保険」について考えましょう。

(1) どんな「保険」があるとよいですか。

- ・学校のタブレットを壊してしまった時に修理を補償する保険
- ・自転車で、歩行者にぶつかってけがさせてしまったときの保険
- ・病気になっても、一定に収入が入ってくる保険
- ・地震や火災で家がなくなっても、建て直すお金を保障する保険 など

(2) 「保険」を選ぶときに、どんなことを考えるとよいですか。

- ・自分のライフスタイルを見つめ直し、本当に必要かどうかを考える。
- ・自分の収入に見合う保険の料金が、自分が送りたい生活ができるかをよく考える。

3. 「金融トラブル」について考えましょう。

私のグループが取り組むトラブル	(省略)
原因	解決方法
(省略)	(省略)

◆授業から分かったこと、実践したいこと◆

「お金」との上手な付き合い方 ～商品の選択と消費者被害の対応～

年 組	名前
-----	----

1. お小遣い1,000円をもって買い物にきました。

どの商品を買いますか。○で囲みましょう。また、その理由は何ですか。



【理由】

2. 「保険」について考えましょう。

(1)どんな「保険」があるとよいですか。

--

(2)「保険」を選ぶときに、どんなことを考えるとよいですか。

--

3. 「金融トラブル」について考えましょう。

私のグループが取り組むトラブル	
原因	解決方法

◆授業から分かったこと、実践したいこと◆

--